

商工観光部

令和元年度 重点目標

- 1 地方創生に向けた地域未来投資の促進と地域産業の活性化
- 2 地域雇用に向けた人材育成と就職マッチング支援
- 3 上田の卓越性を生かした創業支援と企業誘致・留置の推進
- 4 「観光地・上田」の魅力アップと誘客促進
- 5 中心市街地の活性化と稼げるまちづくりの推進

重点目標	地方創生に向けた地域未来投資の促進と地域産業の活性化		部局名	商工観光部	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第2節 地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 1 上田で働きたい戦略 施策体系①地域経済雇用を牽引するものづくり産業の振興		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
現況・課題	<p>・経済、雇用を牽引する基幹産業である製造業の技術力の集積とARECを拠点とする産学官連携の取組みが特徴であり強みでもあります。このためARECを中核とする各種産業支援機関との連携により、次世代に向けた工業活性化の取組みを進め、しごとづくり及び雇用の確保を図ることが必要となります。また、経済のグローバル化に伴い、大手メーカーの海外現地生産化等が進んでいる中、下請け企業は生き残りをかけ、販路拡大や研究開発型企業へと展開を図る必要があるため、幅広く、かつ、きめ細かな企業支援が求められています。</p> <p>・地域の特性を生かした成長性の高い新たな分野に挑戦する取組（地域未来投資）が活発になることで、地域経済における稼ぐ力の好循環の実現が期待されています。</p>					
目的・効果	<p>・広域連携による他市町村の多種多様な企業間の連携を推進し、地域経済の足腰を強くするとともに、既存産業の維持確保のみならず、次世代へとつながる新たな産業創出の支援、並びに雇用の創出を図ります。</p> <p>・販路開拓や農商工連携による6次産業化などに意欲的に取り組む中小企業者に対する支援を充実することで、中小企業の経営力の強化を図ります。また、中小企業の資金繰り支援である制度融資について、企業ニーズや経済情勢を踏まえたうえで弾力的に運用することで、中小企業のセーフティネットを充実します。</p> <p>・地域経済や雇用に関する関連機関との合同会議、各企業への経営実態調査や専門家派遣による事業所訪問等により、情報収集及び情報発信を図るとともに、支援プランを推進することで伴走型の商工業支援を図ります。</p> <p>・地域経済牽引事業計画に基づく設備投資や生産性向上特別措置法の導入促進基本計画に基づく設備投資による固定資産税減免などの優遇制度や国の研究開発補助金などの活用促進を図ります。</p>					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○東信州広域連携による次世代産業創出支援 (1) 連携市町村による推進体制の整備 (2) 次世代産業創出に向けた事業の推進	(1) 通年 (2) 通年	(1) 協議会開催（5月）、幹事会（3回：5月、10月、3月）、事務担当者会議（4回：4月、7月、11月、2月） (2) ①次世代産業創出に向けた開発プロジェクト立上げ・補助金申請支援（1分野）②ものづくりパートナーフォーラム（2回）③企業の経営基盤を高めるための人材育成事業（20回）人材確保事業（6回）④大学研究シーズと企業のマッチング会（4回）、中核企業見学会（2回）、HP・LINEによる情報発信：随時、エリア内コーディネータとの連携促進	(1) 協議会開催（5/20）、幹事会3回：5/10、8/8、10/4 予定）、事務担当者会議（2回 4/15、7/18） (2) ①開発プロジェクト立上げ1件（ウェルネス分野）、プロジェクト検討支援（交通分野1件、環境分野1件、健康医療分野1件、農業分野3件）、②ものづくりパートナーフォーラム（7/4）、③人材育成事業（4月～3月 20回）、技術講演会（4月～3月 9回）、人材確保事業（6回：6/17、6/28、11/16、11/21、12/5、12/27、2/13）、④大学研究シーズと企業のマッチング会（産学交流ラウンジ）3回（6/4、9/4、12/13）、トップセミナー2回（6/19、11/15）、中核企業見学会（6/19、11/15）、海外展開支援セミナー1回（12/10）、HP・SNSによる情報発信（随時）、コーディネータ連絡会議3回（6/18、12/17、12/19）、職業安定協会懇談会・訪問4回（7/25、9/9、9/13、9/16）、職業安定協会・AREC・イノベーション連携協定締結調印式（3/16）	(1) 協議会開催（5/20）、幹事会3回（5/10、8/8、10/4）、事務担当者会議4回（4/15、7/18、11/15、2/20） (2) ①開発プロジェクト立上げ2件（健康医療分野、環境分野）、プロジェクト検討支援（交通分野1件、健康医療分野1件、農業分野3件）、②ものづくりパートナーフォーラム（7/4）、③人材育成事業（4月～3月 20回）、技術講演会（4月～3月 9回）、人材確保事業（6回：6/17、6/28、11/16、11/21、12/5、12/27、2/13）、④大学研究シーズと企業のマッチング会（産学交流ラウンジ）3回（6/4、9/4、12/13）、トップセミナー2回（6/19、11/15）、中核企業見学会（6/19、11/15）、海外展開支援セミナー1回（12/10）、HP・SNSによる情報発信（随時）、コーディネータ連絡会議3回（6/18、12/17、12/19）、職業安定協会懇談会・訪問4回（7/25、9/9、9/13、9/16）、職業安定協会・AREC・イノベーション連携協定締結調印式（3/16）	
②	○AI・IoT等を活用した地域振興・産業振興推進	(1) 通年	(1) 政策研究センターとの連携によるAI・IoT等の最先端技術を活用した住民サービス向上・産業振興に向けた調査研究：随時	(1) IoT等導入支援に向けた市内企業訪問（10件）、最先端技術企業との情報交換会（4回）、関東経済産業局連携会議（7/8・8/20 2回）AI・IoT活用セミナー（1回 10/7予定）	(1) IoT等導入支援に向けた市内企業訪問（15件）、最先端技術企業との情報交換会（6回）、関東経済産業局連携会議（2回 7/8・8/20）AI・IoT活用セミナー（2回 10/7、1/21）、IoT等研究会（1回 12/13）	
③	○意欲ある中小企業のきめ細やかな経営支援 (1) 中小企業振興条例策定 (2) 商工団体・産業支援機関等との連携による販路開拓・受発注等、並びに各企業の産業展等出展支援、市内温泉街の魅力創出支援 (3) 小規模事業小口事業資金（新メニュー）等を活用した融資実行	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 中小企業振興条例検討委員会の開催、条例制定 (2) 3商工団体連携による共同出展の実施（6回以上）、ものづくり相談体制共同出展2回、域内外受発注マッチング等130件以上、販路拡大補助金による支援（35件以上）、産学官連携事業による新分野等進出支援（5件）、新技術等開発事業による支援（6件）、専門家派遣企業数10社30回、ものづくり補助金等国申請支援10件 (3) 融資実行300件	(1) 中小企業振興条例検討委員会の開催（8/30） (2) 3商工団体連携による共同出展の実施（後期5回出店予定）、域内外受発注マッチング等（58件）、販路拡大補助金（15件）、産学官連携事業による新分野等進出支援（6件）、新技術開発事業による支援（4件）、相談体制共同出展（農業WEEK 10/9～10/11 予定、ス10/25・26 上田地域産業展予定）、スーパーマーケットトレードショー 2/12～2/14 予定）、各種展示会出展（10/5・6 佐久地域産業展予定、11/13・14 BIZSAITAMA 予定、専門家派遣企業数（4月～9月 8社11回）、ものづくり補助金等国申請支援8件 (3) 融資実行（165件）	(1) 中小企業振興条例策定、検討委員会4回（8/30、10/1、11/1、1/15） (2) 3商工団体連携による共同出展（5回）、域内外受発注マッチング等（121件）、販路拡大補助金（26件）、産学官連携事業による新分野等進出支援（5件）、新技術開発事業による支援（7件）、相談体制共同出展（農業WEEK 10/9～10/11、上田地域産業展10/25～10/26、スーパーマーケットトレードショー 2/12～2/14）、各種展示会出展（佐久地域産業展 10/5～10/6、BIZSAITAMA 11/13～11/14、専門家派遣企業数12社39回（4月～3月）、企業訪問数478件、ものづくり補助金等国申請支援8件 (3) 融資実行（329件（内小口資金127件）	
④	○信州上田ブランドのブランディング促進 (1) ブランディング支援補助金による新商品開発、マーケティング、農商工連携等支援、上田ブランドプロモーション事業	(1) 4月～3月	(1) 地酒、上田産、農民美術、加工食品等（5件）、プレス発表会、インセンティブ販売の実施、銀座NAGANO・東日本連携センター「まるまるひがしにほん」、ふるさと交流ショップ台東等のアンテナショップ等の有効活用	(1) 農商工連携会議（1回 7/9）、ブランディング支援（2件）、東日本連携センター「まるまるひがしにほん」（6/29、30）、ふるさと交流ショップ台東等のアンテナショップ等の活用（11/20～25）	(1) 農商工連携会議（1回 7/9）、ブランディング支援（4件）、東日本連携センター「まるまるひがしにほん」（6/29、30）、ふるさと交流ショップ台東等のアンテナショップ等の活用（11/20～25）、温泉街空き店舗等補助金1件	
⑤	○関係機関との連携等による実態把握及び支援 (1) 商工会議所・金融機関との連携による企業の生産性及び経営力向上支援 (2) 経営支援や雇用支援に係る関係機関との連携 (3) 経営実態調査や企業訪問による地域経済の情勢把握 (4) 情報発信の充実 (5) 買い物弱者実態調査及び分析、検証	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 (5) 4月～3月	(1) 商工会議所・金融機関とのキャラバン隊による合同企業訪問（随時）、次世代産業創出プロジェクトに向けた金融機関連携による販路開拓・資金調達支援等（随時） (2) 地域経済雇用合同連絡会議開催（4回） 関東経済産業局や中小企業振興センター・よろず支援拠点・JETRO長野等との連携 (3) 経営実態調査の実施（2回）、企業訪問（300件） (4) メールマガジンの発行（月2回以上） (5) 買い物弱者実態調査の実施、分析、検証	(1) 商工会議所・金融機関とのキャラバン隊による合同企業訪問（10件）、次世代産業創出プロジェクトに向けた支援（2社） (2) 地域経済雇用合同連絡会議（5/31） (3) 企業訪問（177件） (4) メールマガジンの発行 (5) 買い物弱者実態調査の実施	(1) 商工会議所・金融機関とのキャラバン隊による合同企業訪問（20件）、次世代産業創出プロジェクトに向けた支援（8社） (2) 地域経済雇用合同連絡会議2回（5/31）（12/1） (3) 企業訪問（300件） (4) メールマガジンの発行（10回） (5) 買い物弱者実態調査の実施・分析・データ完成、庁内会議の開催	
⑥	○企業の設備投資による地域未来投資法や工場等設置支援の活用促進 (1) 生産性向上特別措置法に基づく税制等優遇措置の活用促進、先端設備導入計画策定の支援 (2) 地域未来投資促進法に基づく設備投資への優遇措置の活用促進、地域未来牽引事業計画策定の支援 (3) 工場等設置助成による支援	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 先端設備導入計画策定支援（随時） (2) 地域未来牽引事業計画策定支援（随時） (3) 工場等用地取得・工場等設置に対する支援（5件）	(1) 先端設備導入計画支援（41件） (2) 地域未来牽引事業計画策定支援（2件） (3) 工場等設置に対する支援（3件）	(1) 先端設備導入計画支援（66件） (2) 地域未来牽引事業計画策定支援（2件） (3) 工場等設置に対する支援（3件）	
事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		

重点目標	地域雇用に向けた人材育成と就職マッチング支援		部局名	商工観光部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第4節 安心して働ける環境づくりと雇用創出		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 1 上田で働きたい戦略 施策体系 ② 人材育成・雇用マッチングの拡充		
第三次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の雇用環境は、ハローワーク上田管内(2月)の有効求人倍率が1.69倍となり、高い水準を維持しています。人材不足に苦慮する事業所も見受けられる一方、安定した職業に就けない若者等求職者も見受けられ、引き続き、就労支援施策及び求職者と事業所との雇用のマッチングの充実が一層求められています。 ・人口減少対策(地方創生)が喫緊の課題である中、移住の重要なポイントとなる仕事探しに対する積極的な支援が必要となっています。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者と連携した「UIJターンと地域若者等定住就職支援事業」の実施により、首都圏等の移住希望者に対する就職支援を通じて、移住を検討しやすい環境を整えるとともに、地域若者等を安定した正規雇用に結びつけ、市内定住を促します。 ・上田職業安定協会等関係団体と連携し、学卒者に対する合同就職面接会、インターンシップ等の機会を提供するとともに、SNSを活用し地域企業の情報を届け、一人でも多くの学生を地域企業の正規雇用へ導きます。 ・上田市版ハローワーク(就労サポートセンター)における専門員による労働・就職相談や求職者支援、再就職支援のための各種セミナー開催、職業訓練センターへの支援を通じて、職種や能力・技能のミスマッチを解消し、円滑な雇用マッチングを図り、雇用の維持・安定につなげます。 					
取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)		
① OUIJターン就職の促進 (1) 移住交流推進課・民間人材派遣会社との連携による就職支援 (2) UIJターン就業・創業移住支援事業(新規)による移住・地域企業への就職促進	(1) 4月～3月 (2) 7月～3月	(1) 相談者数:120人、UIJターン希望者の地域企業への就職:35人 (2) 地域企業への就職:10人	(1) 相談者数:67人、UIJターン希望者の地域企業への就職:9人 (2) 支援金活用(予定)による地域企業への就職:1人	(1) 相談者数:92人、UIJターン希望者の地域企業への就職:20人 (2) UIJターン就業・創業移住支援金活用による地域企業への就職:1人		
② ○若年者の地元就職促進 (1) 奨学金返還支援制度の創設 (2) 民間人材派遣会社との連携によるOFF-JT・OJT研修実施 (3) 上田職業安定協会等と連携した学生と企業とのマッチングの強化	(1) 7月～3月 (2) 10月～3月 (3) 4月～3月	(1) 制度創設:7月 (2) 地域企業への就職:20人 (3) 就活フェア等開催:5回、個別相談実施:3回/月、就職支援セミナー開催:15回、LINE(SNS)による就職情報発信、高校生・大学生のインターンシップ受入:300人、高校生事業所見学会:400人、地域企業見学会・学内就職セミナーの開催、インターンシッププログラム作成支援・マッチング会開催等によるインターンシップ受入促進(新規)	(1) 先進自治体の制度研究及び独自性ある制度内容の検討 (2) 研修受講生(前期10人)受入 (3) 就活フェア・就職面接会3回(4月26日・72人、5月10日・52人、7月12日・42人)、就職支援セミナー開催:8回、高校生・大学生のインターンシップ受入:253人、高校生事業所見学会:311人、インターンシップ・ワールドカフェ(マッチング会)2回(5月24日・47人、9月29日・43人)、ジョブ・トゥー・キーン大学(市内3大学)、その他インターンシップ・採用活動向上支援セミナー、インターンシップ成果報告会、保護者向け事業所見学会等を開催予定	(1) 奨学金返還支援制度創設(4/1施行) (2) 研修受講生18人受入のうち14人就職先決定 (3) 就活フェア・就職面接会4回(4/26・72人、5/10・52人、7/12・42人、11/8・63人、3/6・中止)、個別相談実施:36回・45人、就職支援セミナー開催:13回、高校生・大学生のインターンシップ受入:253人、高校生事業所見学会:311人、インターンシップ・マッチング会3回(124人)、ジョブ・トゥー・キーン大学4回(市内3大学・135人)、その他インターンシップ・採用活動向上支援セミナー3回(41人)、インターンシップ成果報告会1回(30人)、企業見学会(2月・2人、3月・中止)、保護者向け事業所見学会、就職懇談会(3月開催予定)は中止、インターンシップ特設サイト開設		
③ ○就労サポートセンター(上田市版ハローワーク)事業の推進 (1) 関係機関と連携した就職・労働相談及び無料職業紹介の実施 (2) 地域雇用に係る情報収集・提供 (3) 求職者・勤労者のスキルアップと企業の人材育成等支援 (4) 若年者の自立・社会復帰支援 (5) 外国人就労に係る各種支援策の検討・実施 (6) 勤労者福祉センター移転の検討	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月 (5) 4月～3月 (6) 4月～3月	(1) 就職・労働相談、無料職業紹介:200件 (2) 事業所訪問:450件 (3) 再就職支援セミナー実施(パノラマセミナー24回、仕事の探し方講座12回、定年退職前後の手続きセミナー5回) (4) 自立に向けたカウンセリング等の実施による就職等:25人 (5) 人権男女共生課との連携による各種支援策の検討・実施 (6) 勤労者福祉センター移転の検討	(1) 求職・労働相談、無料就職紹介・就職支援(91件・うち就職先決定3件) (2) 事業所訪問数(177件) (3) 再就職支援セミナー実施(パノラマセミナー12回・113人、仕事の探し方講座5回・83人、定年退職前後の手続きセミナー2回・26人) (4) 自立支援カウンセリング及び保護者面談の実施 (5) 外国人雇用事業所、AREC及び庁内関係課との連携による就労支援策の検討協議 (6) 「歴史的風致維持向上計画」への計上協議	(1) 求職・労働相談、無料就職紹介・就職支援(168件・うち就職先決定8件) (2) 事業所訪問数(390件) (3) 再就職支援セミナー実施(パノラマセミナー22回・218人、仕事の探し方講座10回・180人、定年退職前後の手続きセミナー4回・50人)、求人説明会の開催周知、年金個別相談会の開催、働き方改革相談窓口の開設 (4) 自立支援カウンセリング及び保護者面談の実施、ひきこもり支援プラットフォーム構築に向けた庁内・関係機関協議(10回) (5) 外国人雇用事業所訪問による状況把握、AREC及び庁内関係課との連携による就労支援策の検討 (6) 「歴史的風致維持向上計画」計上による施設移転の検討		
④ ○キャリア教育による人材育成 (1) ものづくりキャリア教育推進検討委員会の開催 (2) 夏休み親子会社見学会等の開催 (3) 地域産業を学び、地域への就業意識を高める場の提供	(1) 6月 (2) 7月～10月 (3) 7月～10月	(1) 推進検討委員会の開催 (2) 夏休み親子見学会:4日間、ものづくり教室の開催:1回以上、ものづくり出前事業:1回以上 (3) テレビ信州「ジョブキッズしんしゅう」事業への参画(新規)	(1) 推進検討委員会(2月開催予定) (2) 夏休み親子見学会:5日間(9社・197人)、ものづくり教室の開催:1回(1社・11人)、ものづくり出前事業:1回(10月開催予定) (3) テレビ信州「ジョブキッズしんしゅう」(登録173名、職業体験参加者45名)、女子対象理工系進路選択応援イベント開催企画(11月開催予定)	(1) 推進検討委員会(開催予定も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期) (2) 夏休み親子見学会:5日間(9社・197人)、ものづくり教室の開催:1回(1社・11人)、ものづくり出前事業:1回(1社・2人) (3) テレビ信州「ジョブキッズしんしゅう」(登録173名、職業体験参加者45名)、女子生徒等の理工系進路選択応援イベント開催予定も参加申込者少数のため延期		
⑤ ○上田勤労者互助会事業の充実と加入促進 (1) 福利厚生・共済事業の周知及び加入促進 (2) 県内互助会会員特約施設の新規開拓	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月	(1) 事業所訪問を通じた周知及び加入促進:事業所20社・会員50人加入 (2) 特約施設の新規開拓:5件	(1) 事業所訪問を通じた周知及び加入促進:事業所1社・会員12人新規加入 (2) 特約施設の新規開拓:1件	(1) 事業所訪問を通じた周知及び加入促進:事業所2社・会員14人新規加入 (2) 特約施設の新規開拓:1件		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・地域の高校、大学及び首都圏の大学等と連携を図り、地域企業に関する情報をはじめとした就職に係る情報が、確実に学生のもとに届くよう様々な手法を用いて発信する。 ・インターンシップの学生への利用促進及び企業への受入プログラム作成支援等を行い、学生と地域企業とのマッチングを図る。 ・地域の人材不足の課題解決のため、UIJターン就業・起業支援事業や奨学金返還支援事業を制度化し、運用する。		○取組による効果・残された課題 ・移住希望者に対する職業紹介により、地域企業との雇用マッチングが図られ、着実に移住につながっている。 ・インターンシップ事業を充実させ、新たに企業若手社員と学生との交流会を開催するなどしたことで、学生と地域企業とのマッチングが図れた。 ・創設した、UIJターン就業・創業移住支援事業や奨学金返還支援事業の普及に努め、移住定住者を増やす。			

重点目標	上田の卓越性を生かした創業支援及び企業誘致・留置の推進			部局名	商工観光部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第1節 起業・創業支援と中小企業の経営力強化			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 1 上田で働きたい戦略 施策体系③若者等の多様な働き方の支援 ⑤多様な産業の集積促進		
第三次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立			上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生を推進する上では、仕事を作り・雇用機会の拡大を図る施策を推進していくが重要となります。 ・そのためには、民間活力を高め、若者など起業しやすい環境を整えることや、地域特性を活かした様々な産業が集積し成長する必要があります。 ・地域労働力の担い手として女性の社会進出も喫緊の課題であります。 ・インターネット社会において、働き方の多様化に対応するため、今後はテレワークについての可能性を研究する必要があります。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・起業支援や首都圏等からの創業者の誘致を行い、市内企業と創業者とのコミュニティ形成による異業種交流を推進し、新たな商品・産業の創出を目指します。 ・女性のための創業スクールや創業後のフォローアップ等を行い、事業の立ち上げの支援を行います。 ・工場誘致など雇用の創出や税収増による市内経済の活性化のみならず、市内製造業の高度化に寄与する研究機関や本社機能などの誘致を推進することで、市内企業活動の活性化を図ります。 						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	<ul style="list-style-type: none"> ○創業プラットフォームによる創業支援 (1)創業プラットフォームを中心とした創業支援の充実 (2)女性の社会進出支援、女性の創業スクール受講生のアフターフォロー (3)創業のための支援充実 	<ul style="list-style-type: none"> (1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1)創業プラットフォームでの相談件数（300件）創業（30人） (2)女性の創業者の相談件数（30人） (3)クラウドファンディングを活用補助金事業、家賃補助、改修費補助による支援（10件） 	<ul style="list-style-type: none"> (1)、(2)創業支援プラットフォームによる相談：149件（うち女性24件）・創業：17人（うち女性6人） (3)クラウドファンディング活用補助金の情報提供、家賃補助・改修費補助による支援（3件） 	<ul style="list-style-type: none"> (1)、(2)創業支援プラットフォームによる相談：378件・創業：42人（うち女性14人） (3)クラウドファンディング活用補助金の情報提供、家賃補助・改修費補助による支援（8件） 		
②	<ul style="list-style-type: none"> ○企業誘致・留置の推進 (1)第二期箱置工業団地造成の推進、インターチェンジ周辺の用地活用検討 (2)宅地建物取引業協会との連携協定に基づく、市内の空き地、空き工場・事務所などの活用や拡充制度による市内企業の工場・事務所等の設備や駐車場等の拡張への支援、サンワークのあり方検討 	<ul style="list-style-type: none"> (1)4月～3月 (2)4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1)第二期箱置工業団地造成の推進、インターチェンジ周辺の用地活用検討 (2)市内企業の工場・事務所等の設備や駐車場等の相談にきめ細かく対応、企業訪問（150社）、サンワークのあり方検討 	<ul style="list-style-type: none"> (1)、(2)市内工業団地等、用地活用の研究、市内企業へ設備投資等への助成についての情報提供、企業訪問（72件） 	<ul style="list-style-type: none"> (1)、(2)市内工業団地等、用地活用の研究、市内企業へ設備投資等への助成についての情報提供、企業訪問（134件） 		
③	<ul style="list-style-type: none"> ○起業家、サテライトオフィス等の誘致 (1)上田市技術研修センターを活用したIT技術者人材育成 (2)サテライトオフィス促進事業 (3)県の「おためしナガノ」事業や市内コワーキング施設との連携 	<ul style="list-style-type: none"> (1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月 	<ul style="list-style-type: none"> (1)IT技術者人材育成事業に向けた市内企業ヒアリング・技術研修センター改修 (2)サテライトオフィス促進事業による支援（1件） (3)県の「おためしナガノ」や市内コワーキング施設との連携による誘致（1件）、温泉街創業・出店支援（5件） 	<ul style="list-style-type: none"> (1)IT技術者人材育成事業に向けた市内企業ヒアリング（3社）、技術研修センター改修（2月完了予定）(2)サテライトオフィス誘致（助成金等説明2社） (3)温泉街創業・出店支援事業による支援（1件） 	<ul style="list-style-type: none"> (1)IT技術者人材育成事業に向けた市内企業ヒアリング（5社）、技術研修センター改修（2月完了） (2)サテライトオフィス誘致（助成金等説明2社） (3)温泉街創業・出店支援事業による支援（1件） 		
④							
⑤							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

重点目標	「観光地・上田」の魅力アップと誘客促進	部局名	商工観光部	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 誰もがいきいき働き 産業が育つまちづくり 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	【戦略】3 訪れたい・住みたいいうえだ戦略 【施策体系】①地域資源を生かした知名度アップと交流促進		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (イ)多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり (ウ) 広域連携の推進	上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3	働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり	
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 大河ドラマ「真田丸」を契機に当市の知名度は飛躍的に向上し、交流人口も大幅に増加した。 2019年ラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを好機として外国人観光誘客に取組んでおり、当市の外国人観光客数は増加傾向にある。 当市の重要な観光地である温泉地における老舗旅館の事業停止など厳しい状況となっている。 観光を推進する牽引役である「一般社団法人 信州上田観光協会」における事業推進が重要となっている。 				
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 観光は多種多様な業種に関連する裾野の広い産業であり、地域経済の起爆剤となるリーディング産業である。 別所温泉や鹿教湯温泉といった当市の重要な観光地の活性化を目指し、再生支援に取組む。 当市が保有する「歴史」「文化」「自然」「食」等の観光資源や首都圏とのアクセス面の良さ、長野市・松本市・軽井沢町の連携等の好条件を活かしたプロモーション事業によって積極的な誘客を図る。 海外にも人気のある観光資源である真田氏・忍者・アニメ等のコンテンツを利活用し、海外プロモーション事業や海外メディア招聘、多言語パンフレット、SNSによる情報発信などのインバウンド施策を推進する。 法人化3年目となる「一般社団法人 信州上田観光協会」や、誘客イベントを実施する「信州上田まつり実行委員会」との連携した取組みを進める。 				
	取組項目及び方法・手段 (何をどのように)	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標 (どの水準まで)	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告 (目標に対する達成状況・達成度)
①	① インバウンドの推進 (1) 海外誘客促進 ア 海外キャンペーン イ 誘致事業 (ア) ファムトリップ (イ) ウェルネス・グローバル・サミット温泉部会 ウ 軽井沢観光協会連携事業 エ 信州PRキャンペーンinカナダ オ フランス観光開発機構 ア フランス大使館VIPパーティー出展 イ フランスワインツーリズムコンクール ウ 優秀者視察旅行商談会・レセプション エ しの鉄道沿線観光協会インバウンド推進協議会 オ Banzai Pass (外国人向けチケット販売) カ 首都圏観光PRキャンペーン (スカイツリー、SMBCライジング・スクエア) (2) おもてなしの態勢整備 ア 情報発信 (ア) ホームページリニューアル (イ) SNS (twitter、facebook、instagram) の活用 (イ) 多言語パンフレット改訂 (英語、韓国、中国(簡体・繁体)、タイ語) イ 受入態勢整備 (ア) 多言語案内看板整備 (イ) Wi-Fi整備 ウ 手荷物一時預所の設置・運営 (旅行会社との業務提携締結) エ キャッシュレス対応の周知・啓発 (ア) 観光会館売店 Origami payの導入	(1) ア 台湾6月・11月 イ11月、カ6月 (イ) 台湾(通年) (イ) 10月18～20日 ウ(ア) 6月 (イ) a 5月29日 b 11月 エ(ア) 通年 オ 通年 (2) ア(ア) 6月運用開始 (イ) 通年 (イ) 通年 (イ) 通年 (イ) 通年 ウ 通年 エ(ア) 6月	(1) 外国人延宿泊者数20,000人 ア 海外キャンペーン 台湾2回、タイ1回、カナダ1回 イ(ア) ファムトリップ 台湾2回 (イ) ウェルネス・グローバル・サミット温泉部会 10月18～20日 50人規模 ウ(ア) 信州PRキャンペーンinカナダ 6月 (イ) a フランス大使館VIP 5月29日 150人規模 b フランスワインツーリズム 11月 40人規模 エ(ア) Banzai Pass 月160件×12ヶ月=2,000件 オ スカイツリー1回、SMBC1回 (2) ア(ア) HPIリニューアル 6月運用開始 (イ) SNSの活用 twitter フォロワー8,000件(年間) facebook いいね5,000件(年間) instagram 投稿数300件(年間) (イ) 多言語パンフレット改訂 5,000部×5言語=25,000部 (イ) 多言語看板 市内観光ポイント10箇所 (イ) Wi-Fi整備の検討 ウ 手荷物一時預所 1月運用開始 エ(ア) 観光会館売店 Origami pay導入 6月実施	(1) 外国人延宿泊者数(4～9月) 6,613人 ア 海外キャンペーン カナダ1回 イ(ア) ファムトリップ 台湾1回 (イ) ウェルネス・グローバル・サミット温泉部会 10月18～20日開催予定50人規模 ウ(ア) 信州PRキャンペーンinカナダ 6月実施 (イ) a フランス大使館VIP 5月29日 150人規模 b フランスワインツーリズム 11月15日・16日開催予定 20人規模 エ(ア) Banzai Pass (4～9月) 1,034件 オ スカイツリー検討中 SMBC 10/8開催 (2) ア(ア) HPIリニューアル 更新作業実施中 (イ) SNSの活用 twitter フォロワー12,000件(9月末) facebook フォロワー5,300件、いいね3,923件(9月末) instagram フォロワー750件、投稿数292件(9月末) (イ) 多言語パンフレット改訂 12月末までに納品予定 3言語 部数検討中 (イ) 多言語看板 検討中 (イ) Wi-Fi整備 検討中 ウ 手荷物一時預所 1月運用開始 検討中 エ(ア) 観光会館売店 Origami pay導入 6月にシステム導入済み。運用開始については、関係機関と調整中	(1) 外国人延宿泊者数(4～3月) 7,314人 ア 海外キャンペーン カナダ1回 台湾1回 タイ1回 イ(ア) ファムトリップ 台湾1回 タイ1回 (イ) ウェルネス・グローバル・サミット温泉部会 ※令和元年東日本台風により中止 ウ(ア) 信州PRキャンペーンinカナダ 6月実施 (イ) a フランス大使館VIP 5月29日 150人規模 b フランスワインツーリズム 11月15日・16日開催 20人規模 エ(ア) Banzai Pass (4～3月) 1,795件 オ スカイツリー実施なし SMBC 10/8開催 (2) ア(ア) HPIリニューアル 更新作業実施済 (イ) SNSの活用 twitter フォロワー15,000件(3月末) facebook フォロワー5,400件 いいね5,414件(3月末) instagram フォロワー900件 投稿数315件(3月末) (イ) 多言語パンフレット改訂(2月末納品) 3言語：英語、中国語(繁)、タイ語 各5,000部 (イ) 多言語看板 (イ) Wi-Fi整備 ウ 手荷物一時預所 JR東日本上田駅と調整中 エ(ア) 観光会館売店 Origami pay導入 6月にシステム導入済み。運用開始については、関係機関と調整中

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
②	<p>② 観光資源のブラッシュアップと活用推進</p> <p>(1) 温泉地活性化支援 ア 別所温泉、丸子温泉郷(大塩・霊泉寺・鹿教湯)活性化 イ 活性化策立案に向けた地元との協議 エ 空き家・空き店舗支援事業の導入(商工課連携) イ 塩田の館の展示内容リニューアル検討</p> <p>(2) 観光団体バスツアー誘致 ア 団体バス補助金事業 イ 柳町との連携強化 ウ 柳町をモデルに新たな地域の発掘 エ 観光案内ガイド育成事業</p> <p>(3) マリコワイナリーの活用 ア 広域行政間連携(小諸市・東御市)の推進 イ 新たな旅行商品の開発(しなの鉄道・旅タクシー等の活用)</p> <p>(4) 信州上田フィルムコミッション事業促進 ア 信州上田サマーフェスティバル実行委員会2019記念事業(劇場公開10周年記念事業) イ 聖地巡礼スタンプラリー ウ 上田城野外シネマ上映会 エ ラッピング電車(上田電鉄別所線) オ 宣伝PRキャンペーン(首都圏等) イ 上田映画「兄消える」活用による誘客促進 ウ ロケ地マップの製作 エ 「兄、金之助に手紙を返そう」企画</p> <p>(5) 誘客イベントの開催 ア 信州上田まつり実行委員会主催イベント「上田城千本桜まつり」「上田真田まつり」「納涼盆まつり」「上田城紅葉まつり」 イ 市民まつり「上田わっしょい」「信州上田大花火大会」 ウ 国際忍者学会 エ うえだ鉄道まつり オ 食のおもてなし事業</p>	<p>(1) ア 7月 通年 イ 通年 エ 通年</p> <p>(2) ア 1月～3月 イ 通年 ウ 通年 エ 6月～</p> <p>(3) ア 通年 イ 通年</p> <p>(4) ア 7月～9月 イ 8月 ウ 4月～8月 エ 4月～8月 イ 7月 5月 イ 5月</p> <p>(5) ア 4月、8月、11月 イ 7月27日、8月5日 ウ 9月14日・15日 エ 10月26日 オ 4月23日～5月6日、8月、9月～11月</p>	<p>(1) ア 7月 1回 イ 空き家等支援事業 通年 エ 塩田の館展示内容検討 通年</p> <p>(2) ア 団体バス補助金事業 1月～3月 イ 柳町との連携強化 通年 ウ 新たな地域発掘 通年 エ 観光ガイド育成事業 6月～</p> <p>(3) ア 広域行政間連携 通年 イ 新商品開発 通年</p> <p>(4) ア 7月～9月 イ 野外上映会 8月 2,000人規模 ウ ラッピング電車 4月～8月 エ 観光キャンペーン 4月～8月 イ 7月 10,000部 イ 「手紙を返そう企画」 100人</p> <p>(5) ア 「千本桜まつり」 30万人 イ 「上田真田まつり」 10万人 ウ 「納涼盆まつり」 1万5千人 エ 「紅葉まつり」 5万人 イ 「上田わっしょい」 10万人 ウ 「上田大花火大会」 10万人 ウ 国際忍者学会 200人規模、海外5ヶ国 エ うえだ鉄道まつり 1,000人規模 オ 食のおもてなし事業 各期間6店舗出展</p>	<p>(1) ア 7月 8月 イ 空き家等支援事業 1件 エ 塩田の館 手裏剣投げコーナー 真田氏PRバナー掲出等展示の充実</p> <p>(2) ア 団体バス補助金事業 1月～3月 8月告知開始 イ 柳町との連携強化 信州上田おもてなし武将隊 派遣、ツアー造成 ウ 新たな地域発掘 巢栗渓谷に関する商品開発検討 エ 観光ガイド育成事業 研修会実施(6月) ・ボランティアの会(定例学習会、6月視察研修) ・EGG(定例学習会、9月視察研修) ・ご家老奥方おもてなし隊(2月、3月)(シルバー人材センターガイド班)</p> <p>(3) ア 広域行政間連携 通年 検討中 イ 新商品開発 通年 梶子ワイナリーの旅タクシー造成9月実施(信州とうみ観光協会連携)</p> <p>(4) ア 7月～9月 イ 野外上映会 8月(著作権元との調整つかず未実施) ウ ラッピング電車 7月～9月 エ 観光キャンペーン 6月～8月 イ 7月 10,000部 イ 「手紙を返そう企画」 141人</p> <p>(5) ア 「千本桜まつり」 30万人 イ 「上田真田まつり」 12万人 ウ 「納涼盆まつり」 実施なし エ 「紅葉まつり」 ※11月2、3日開催予定 イ 「上田わっしょい」 8万人 ウ 「上田大花火大会」 8万人 ウ 国際忍者学会 140人出席(7ヶ国1人、台湾1人) エ うえだ鉄道まつり 10月25日、26日実施予定 オ 食のおもてなし事業「上田城二の丸横丁」 春季(4/23～5/6) 夏季(7/20～8/25) 秋季(9/14～11/4) 平均出展者数：3店舗</p>	<p>(1) ア 7月 8月 イ 空き家等支援事業 1件 エ 塩田の館 手裏剣投げコーナー 真田氏PRバナー掲出等展示の充実</p> <p>(2) ア 団体バス補助金事業 1月～3月 1台 イ 柳町との連携強化 信州上田おもてなし武将隊 派遣、ツアー造成 ウ 新たな地域発掘 巢栗渓谷に関する商品開発検討 エ 観光ガイド育成事業 研修会実施(6月) ・ボランティアの会(定例学習会、6月視察研修) ・EGG(定例学習会、9月視察研修) ・ご家老奥方おもてなし隊(2月、3月)(シルバー人材センターガイド班)</p> <p>(3) ア 広域行政間連携 通年 検討中 イ 新商品開発 通年 梶子ワイナリーの旅タクシー造成9月実施(信州とうみ観光協会連携)</p> <p>(4) ア 7月～9月 イ 野外上映会 8月(著作権元との調整つかず未実施) ウ ラッピング電車 7月～9月 エ 観光キャンペーン 6月～8月 イ 7月 10,000部 イ 「手紙を返そう企画」 149人</p> <p>(5) ア 「千本桜まつり」 30万人 イ 「上田真田まつり」 12万人 ウ 「納涼盆まつり」 実施なし エ 「紅葉まつり」 3万人 イ 「上田氷灯ろうまつり」 2千人 ウ 「上田わっしょい」 8万人 ウ 「上田大花火大会」 8万人 ウ 国際忍者学会 140人出席(7ヶ国1人、台湾1人) エ うえだ鉄道まつり 令和元年東日本台風により中止 オ 食のおもてなし事業「上田城二の丸横丁」 春季(4/23～5/6) 夏季(7/20～8/25) 秋季(9/14～11/4) 平均出展者数：3店舗</p>
③	<p>③ 広域連携事業の推進</p> <p>(1) 東日本連携事業 ア 東日本支援センターの活用 イ 誘客促進事業の実施</p> <p>(2) トライアングル連携事業(長野市・松本市・上田市) ア サイクリング活用広域連携事業 イ ユニバーサルツーリズム事業(対応施設現況調査) ウ 松本-上田直行バスの運行促進 エ 信州花フェスタ2019の連携PR(上田市PRブース出展)</p> <p>(3) 真田街道推進機構等関係自治体・団体連携 ア お城EXPO出展(パシフィコ横浜)連携自治体 上田市、長野市、嬬恋村、長野原町、草津町、東吾妻町、中之条町、高山村、みなかみ町、沼田市、昭和村、川場村、片品村</p>	<p>(1) ア 通年 イ 通年</p> <p>(2) ア 通年 イ 通年 ウ 通年 エ 4月25日～6月16日</p> <p>(3) ア 12月下旬</p>	<p>(1) ア 東日本支援センター 通年 イ 誘客促進事業 通年</p> <p>(2) ア サイクリング 連携事業 通年 イ ユニバーサルツーリズム 通年 ウ 松本上田直行バス 通年 乗車3,500人(6人/便) エ 信州花フェスタ2019 4月25日～6月16日</p> <p>(3) ア お城EXPO出展 12月下旬</p>	<p>(1) ア 東日本支援センター ボスター掲出、PRバナーフレット配架 イ 誘客促進事業 誘客イベント実施(6/29、30、9/14、15)</p> <p>(2) ア サイクリング 連携事業 長野市、松本市との打合せを継続 イ ユニバーサルツーリズム 県ユニバーサルツーリズム推進協議会出席(7/12) ウ 松本上田直行バス 通年 乗車2,251人(6.78人/便)9月末 エ 信州花フェスタ2019 上田市PRブース出展(4/27、5/2)</p> <p>(3) ア お城EXPO出展 出展予定(12/21、22)</p>	<p>(1) ア 東日本支援センター ボスター掲出、PRバナーフレット配架 イ 誘客促進事業 誘客イベント実施(6/29、30、9/14、15、2/9)</p> <p>(2) ア サイクリング 連携事業 長野市、松本市との打合せを継続 イ ユニバーサルツーリズム 県ユニバーサルツーリズム推進協議会出席(7/12) ウ 松本上田直行バス 通年 乗車3,673人(6.54人/便)3月末 エ 信州花フェスタ2019 上田市PRブース出展(4/27、5/2)</p> <p>(3) ア お城EXPO出展 出展(12/21、22)</p>
④	<p>④ 「稼ぐ観光」への体制強化</p> <p>(1) (一社)信州上田観光協会の体制強化 ア 事務局長の専任配置 イ 収益事業の強化</p> <p>(2) 地域おこし企業人の登用 ア 派遣元企業との派遣協定締結 イ 戦略的骨子の策定 ウ 国内外からの観光誘客戦略立案 エ 地場産業を活かしたブランディング オ ワークーション促進</p> <p>(3) 信州上田おもてなし武将隊事業の促進 ア 観光キャンペーン参加 イ 「戦国GIG 凱」実施</p> <p>(4) 旧石井鶴三美術館の活用検討 ア 庁内関係課との協議</p>	<p>(1) ア 4月 イ 通年</p> <p>(2) ア 協定締結 7月 イ 派遣開始 8月 ウ 7月 通年 イ 通年 ウ 通年</p> <p>(3) ア 通年 イ 11月2日、3日</p> <p>(4) ア 5月～</p>	<p>(1) ア 事務局長の専任配置 4月 イ 収益事業強化 通年 正会員100、賛助100、協賛15</p> <p>(2) ア 派遣協定締結 7月 イ 派遣開始 8月 ウ 観光誘客戦略立案 検討:通年 骨子策定:3月 イ ブランディング 現況調査:通年 骨子策定:3月 ウ ワークーション促進 現況調査:通年 骨子策定:3月</p> <p>(3) ア 観光キャンペーン参加 20回(年間) イ 「戦国GIG 凱」実施</p> <p>(4) ア 庁内関係課協議 5月実施～</p>	<p>(1) ア 事務局長の専任配置 (4/1～) イ 収益事業強化 通年 正会員79、賛助89、協賛9(9月末現在)</p> <p>(2) ア 派遣協定締結・派遣開始 9/1 イ 7月 観光誘客戦略立案 現状調査 インバウンド推進部会出席 観光産業振興議会研修講演(9/26) 観光産業振興議会視察参加(1/26)</p> <p>(4) ブランディング 東急グループふるさと納税「ふるさとパレット」10月開始</p> <p>(5) ワークーション促進 別所温泉他、市内の施設の活用を協議中 下田ワークーションサミット参加(10/10)</p> <p>(3) ア 観光キャンペーン参加 7回 イ 「戦国GIG 凱」実施 11/3開催予定</p> <p>(4) ア 庁内関係課協議 未実施</p>	<p>(1) ア 事務局長の専任配置 (4/1～) イ 収益事業強化 通年 正会員80、賛助91、協賛9(3月末現在)</p> <p>(2) ア 派遣協定締結・派遣開始 9/1 イ 7月 観光誘客戦略立案 現状調査 インバウンド推進部会出席 観光産業振興議会研修講演(9/26) 観光産業振興議会視察参加(1/26)</p> <p>(4) ブランディング 東急グループふるさと納税「ふるさとパレット」10月開始</p> <p>(5) ワークーション促進 別所温泉他、市内の施設の活用を協議中 下田ワークーションサミット参加(10/10)</p> <p>(3) ア 観光キャンペーン参加 11回 イ 「戦国GIG 凱」実施(11/3)</p> <p>(4) ア 庁内関係課協議 1回</p>
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

重点目標	中心市街地の活性化と稼げるまちづくりの推進		部局名	商工観光部	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第3節 賑わいと活力ある商業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 3 訪れたい・住みたいいうえだ戦略 施策体系 ①地域資源を生かした知名度アップと交流促進		
第三次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ア) 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	3 働く喜びにあふれ、産業がいきいき発展するまちづくり		
現況・課題	<p>・上田市中心市街地活性化基本計画（2期計画）は国の認定を受け、本計画に基づき取組を進めてきたところであり、本年度に計画期間が終了することから、今後の方針を定めていく必要があります。本計画の数値目標の一つとして、空き店舗数の減少を掲げており、地方創設推進交付金を活用した新たな空き店舗対策として、平成30年度から取組を進めているまちなか創業空き店舗活用事業を着実に実施し目標達成を目指す。</p> <p>・ラグビーワールドカップ2019日本大会に出場するイタリア代表チームが昨年に引き続き菅平高原でトレーニングキャンプを行う予定であり、イタリア代表チームを歓迎する機運を盛り上げるとともに、2020年に56年ぶりに東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会「2020年東京大会」を地域都市・上田市からも盛り上げていく必要があります。</p>					
目的・効果	<p>・中心市街地活性化基本計画を検証することにより、これまでの取組の効果と課題を把握し、中長期的なまちづくりに向け新たな施策を検討します。また、まちなか創業空き店舗活用事業の実施により、空き店舗数の減少を図るとともに、まちなかにおいて開業できる人材を育て創業を促すとともに、商店街全体の活性化と稼げるまちづくりを推進します。</p> <p>・ラグビーイタリア代表チームによるトレーニングキャンプや2020年東京大会の開催を契機として、中心商店街においてイタリアや2020年東京大会をテーマとする事業を実施することで、まちなかへの誘客とにぎわいの創出を図ります。</p>					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	<p>○第二期中心市街地活性化基本計画後の方針検討</p> <p>(1) 計画の効果検証</p> <p>(2) 庁内関係部局や上田商工会議所・商店街などの関係団体との意見交換等による今後の方針を検討</p> <p>(3) 計画終了年度における目標数値（居住人口、歩行者通行量、空き店舗数）の把握</p>	<p>(1) 4～3月</p> <p>(2) 4～3月</p> <p>(3) 10月</p>	<p>(1) 中心市街地活性化協議会・庁内情報交換会の開催</p> <p>(2) 検証結果のとりまとめ</p> <p>(3) 調査の実施</p>	<p>(1) 中心市街地活性化協議会の開催（11月開催予定）、庁内情報交換会（5/8）</p> <p>(2) 第二期基本計画の検証（内閣府地方創生推進事務局平成30年度定期フォローアップ報告・公表）</p> <p>(3) 歩行者通行料調査（10月実施予定）</p>	<p>(1) 中心市街地活性化協議会の開催（1月開催）、庁内情報交換会3回（5/8）（2/6）（3/13）</p> <p>(2) 第二期基本計画の検証（内閣府地方創生推進事務局平成30年度定期フォローアップ報告・公表）</p> <p>(3) 歩行者通行料調査（10月実施）、空き店舗数27件</p>	
②	<p>○まちなか創業空き店舗活用事業を推進</p> <p>(1) 海野町商店街の空き店舗に設置したチャレンジショップ「豆の木」の運営</p> <p>(2) 空き店舗情報バンク制度と連動した店舗賃借料補助の実施</p> <p>(3) まちなか業種別アドバイザー制度の実施</p> <p>(4) 空き店舗見学会の実施</p> <p>(5) まちなか創業セミナーの開催</p>	<p>(1) 4～3月</p> <p>(2) 4～3月</p> <p>(3) 4～3月</p> <p>(4) 4～3月</p> <p>(5) 4～3月</p>	<p>(1) ショップの営業、新規出店者の募集</p> <p>(2) 店舗賃借料補助の実施</p> <p>(3) アドバイザーによる相談</p> <p>(4) 見学会の開催 1回以上</p> <p>(5) セミナーの開催 4回</p>	<p>(1) ショップの営業（2店）</p> <p>(2) 店舗賃借料補助の実施（2件）</p> <p>(3) アドバイザーによる相談（2件）</p> <p>(4) 見学会の開催（3回）</p> <p>(5) セミナーの開催（5回）</p>	<p>(1) ショップの営業（3店）</p> <p>(2) 店舗賃借料補助の実施（2件）</p> <p>(3) アドバイザーによる相談（2件）</p> <p>(4) 見学会の開催（3回）</p> <p>(5) セミナーの開催（7回）</p>	
③	<p>○真田十勇士ガーデンプレイス等を拠点とする上田まちなか交流事業の促進</p> <p>(1) ラグビーワールドカップ及び2020年東京オリ・パラ大会をテーマとする企画展示等の実施</p> <p>(2) イタリア交流セミナーの開催と上田市の地域資源の魅力発信など</p> <p>(3) 信州上田まちなかイタリアフェスタ、地酒フェスの開催</p> <p>(4) 商店街によるイベントの開催支援と販売促進支援</p>	<p>(1) 4～11月</p> <p>(2) 6～8月</p> <p>(3) 9月</p> <p>(4) 4～3月</p>	<p>(1) 企画展示の実施</p> <p>(2) セミナーの開催など 3回</p> <p>(3) フェスタの開催</p> <p>(4) イベント開催支援と販売促進支援</p>	<p>(1) 4/1～8/20上田まちなかスポーツ展 8/22～11/4上田まちなかロディ展</p> <p>(2) イタリア交流セミナー（6/29、30、8/8、9、8/31、9/1）</p> <p>(3) イタリアフェスタ（9/15）地酒出店有</p> <p>(4) まちなかワインフェスタ2019（4/29）、一店一国応援運動（5/3～8/20）、ワールドワインフェス（5/26）、ビアガーデン（8月金曜日）、信州上田七夕まつり（8/6、7、8）</p>	<p>(1) 4/1～8/20上田まちなかスポーツ展 8/22～11/4上田まちなかロディ展</p> <p>(2) イタリア交流セミナー（6/29、30、8/8、9、8/31、9/1）</p> <p>(3) イタリアフェスタ（9/15）地酒出店有</p> <p>(4) まちなかワインフェスタ2019（4/29）、一店一国応援運動（5/3～8/20）、ワールドワインフェス（5/26）、ビアガーデン（8月金曜日）、信州上田七夕まつり（8/6、7、8）</p>	
④	<p>○池波正太郎真田太平記館の魅力発信と関係機関・商店街等との連携による市街地活性化の促進</p> <p>(1) 企画展・写真展などの開催による事業の充実</p> <p>(2) 土蔵壁改修による構内環境の整備</p> <p>(3) サロントークの開催</p> <p>(4) 池波正太郎真田太平記館「友の会」の活性化</p>	<p>(1) 4月～3月</p> <p>(2) 5月～12月</p> <p>(3) 4月～3月</p> <p>(4) 4月～3月</p>	<p>(1) 企画展・写真展 4回開催</p> <p>(2) 土蔵壁の改修</p> <p>(3) サロントーク 4回開催</p> <p>(4) 新たな会員勧誘推進及び積極的な情報発信</p>	<p>(1) 春の企画展 3/24～6/16 入館者数 4,663人、夏の企画展 7/6～9/23 入館者数 5,026人</p> <p>(2) 土蔵壁の改修実施済</p> <p>(3) 5/17 参加者37人、7/19 参加者34人</p> <p>(4) 会員勧誘の実施及びツイッターの開始</p>	<p>(1) 春の企画展 3/24～6/16 入館者数 4,663人、夏の企画展 7/6～9/23 入館者数 5,026人</p> <p>(2) 土蔵壁の改修 7/20完成</p> <p>(3) 5/17 参加者37人、7/19 参加者31人、11/15 参加者31人、1/24 参加者25人</p> <p>文学散歩（上州）参加者27人</p> <p>ミニコンサート実施 10/25 参加者45人</p> <p>(4) 機会を捉え会員勧誘を実施、7月からツイッターを開始</p>	
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		